

自己評価について

A:十分できた B:大体できた C:あまりできなかった D:全くできなかった

I 学校の建学の精神・校訓・教育目標 A

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響は受けたが、学校行事は概ね良好に実施できた。特に体育祭や学園祭等においては、生徒の自主的・主体的な取り組みを奨励し、生徒たちもその期待に大いに応えてくれた。校訓・建学の精神はすべての教育活動の中で、十分浸透している。

教育目標については、校訓や建学の精神と併せて、様々な場面で確認している。

II 中高グランドデザイン B

中高の教育指針として学校案内への掲載、学校公開などで丁寧に説明した。この方針に従ってそれぞれの部署が、グランドデザインを具現化する方針立てをし、実践してきた。次年度はさらに内容を深化させ、教育活動のすべてに通底する考え方としていく。

III 学習指導

- (1)専門性を高め、教科指導力を向上させる B
- (2)生徒の学習意欲を喚起できる、生きた教科指導をする B
- (3)生徒の進路達成欲求に答えられる、受験指導能力を身につける
- (4)学習習慣作りのための具体的展開を実行する

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部オンライン授業対応をしたが、平常の授業形態を取り戻し、丁寧な教育実践ができた。

私学にあっては「魅力ある授業・力をつける授業」を展開することが、生き残りのための必要条件となる。そのため、教員個々人の教科指導に対する意識を向上させ、魅力ある授業者となるための、意識改革と研鑽を積むことが必要となる。平常の授業に加え、朝学習や講座、予備門などをより充実させていくことが必須である。

中学 Eminence プログラムを質・数ともに充実させることが学校として最重要な課題である。将来高校へ上がってくることを踏まえて、よりよい取り組みができるよう各部署で検討し実践していく。

IV 生徒指導 「時を守り 場を清め 礼を正す」

- (1)挨拶の励行 A
- (2)清掃の充実 A
- (3)時間の厳守 A
- (4)規範・規定遵守の徹底 B

クラブ活動生徒を中心に挨拶の徹底がなされており、自ずと他の生徒たちも挨拶をしっかりできるようになっている。学年集会での意識付けも丁寧に行っており、学校全体として規律ある生活規範が保たれている。学校全体の清掃については校務が担当しているが、

教室内や廊下については清掃が行き届いている。

生徒指導事項に対する対応については、スクールコンプライアンスを再確認し、それぞれの教員が丁寧に対応することが求められている。報告・連絡・相談の徹底や管理職・生徒指導部・学年・保護者の連携をしっかりと取ることが大切である。

学校の規範や規則についてはその内容を吟味し、現状に遇わないものは大きく変更した。特に、携帯電話の扱い等については生徒の意見を吸収しながら、新しい方向性を提示した。

V その他として（次年度重点課題として）

- ・以前から行われてきたこと慣習として行われてきたこと、すべての学校業務を根本から見直し、自分たちでしっかり考え、新しい教育活動を展開する
- ・構造化については、12月中にめどを立てて組み立てを行うことが必要である。早めの引き継ぎをし、3月から新年度の方針立てを行えるようにする
- ・特別奨学生の継続基準を在校生に適応した。クラブ特別奨学生が他校強豪校へ転出するという事態が発生したので、次年度からはクラブ特別奨学生が競合する他校へ転出する場合は、学校から支給された奨学金を返納する旨をあらかじめ明記することとする
- ・Eminenceプログラムの3年目の充実に向けて、あらゆる方途を策定していく
- ・矜持プログラムの企画・実行
- ・学校行事の精選と企画の見直し
- ・スクールコンプライアンスの研修を実施する
- ・生徒募集・広報戦略の強化を図る
- ・校務運営組織の改善を図り、組織の効率化・業務の見直しをする
- ・クラブ募集の充実を図る
- ・中高大の連携を強化する（特に社会学部・短大保育科）
- ・一部校舎のエアコン設置を実行。他の場所については長期スパンで考える
- ・新入生の奨学金の点検
- ・クロムブック導入に伴う、実践・研究